

■計画地

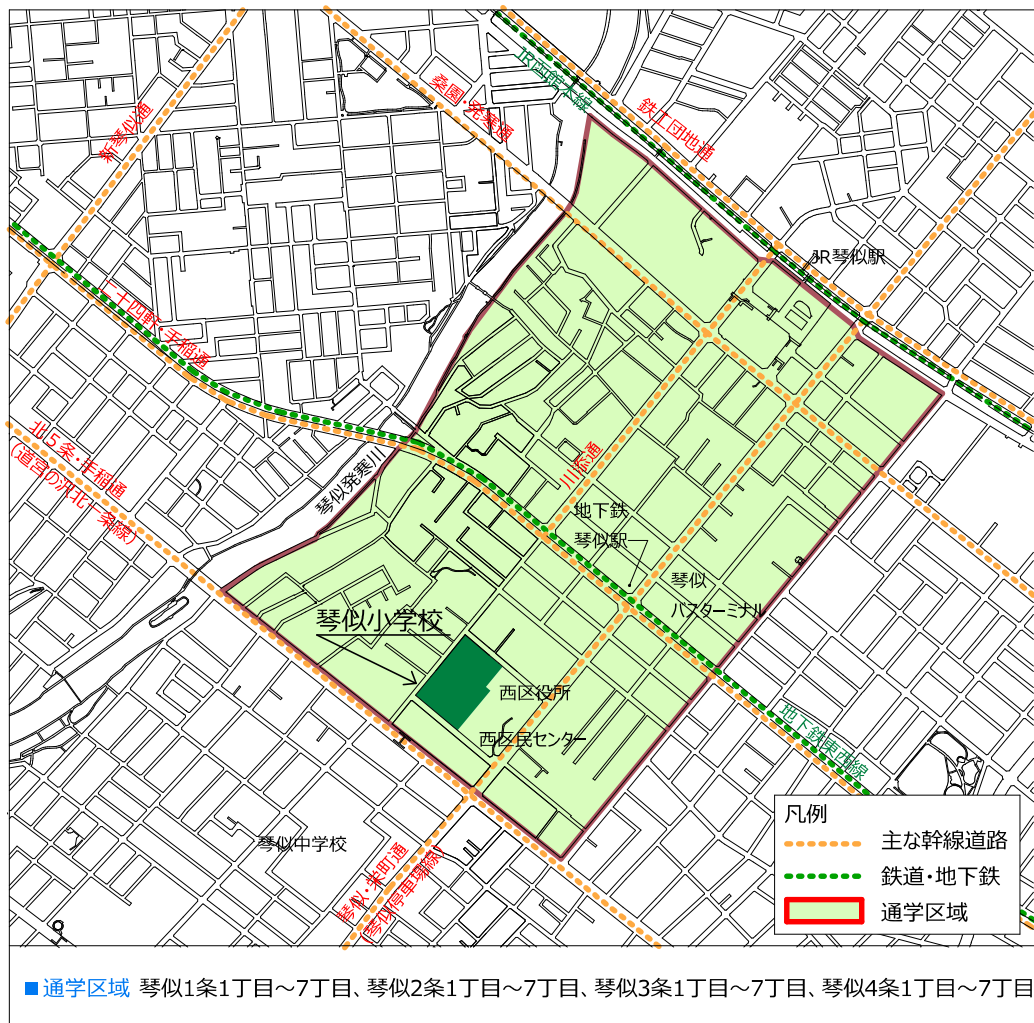
住所：札幌市西区琴似2条7丁目1番30号

敷地面積：14,196㎡

用途地域：近隣商業地域、商業地域

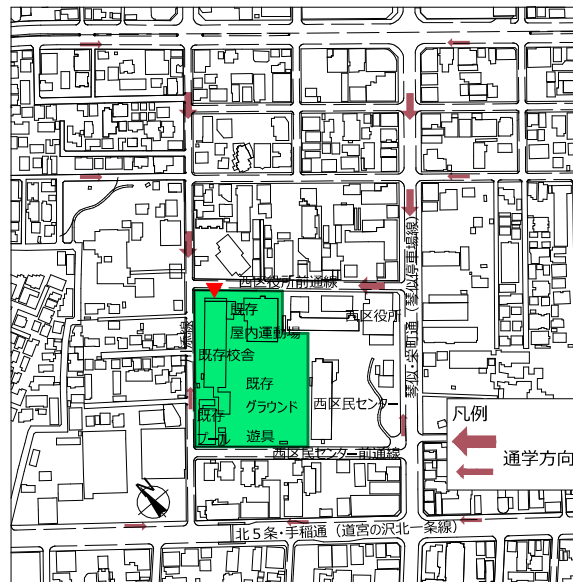
■計画地の周辺環境

琴似小学校は、札幌市中心部から北西に直線で約4.9kmに位置しています。校区内には地下鉄東西線琴似駅及びJR函館本線琴似駅があり、また、学校敷地周辺には北5条・手稲通等の主要道路が通っており、交通の便が良い地域です。学校周辺は西区役所や西区民センターがあるほか、商業施設や高層マンションが建ち並ぶ地域です。



■通学区域 琴似1条1丁目～7丁目、琴似2条1丁目～7丁目、琴似3条1丁目～7丁目、琴似4条1丁目～7丁目

【 通学区域 】



【 敷地周辺状況 】

■施設計画規模

既存 校舎	【5,783㎡】	改築後 校舎	【約8,611㎡】	※うち給食室約350㎡、児童会館約300㎡、多目的ホール約150㎡
既存 屋内運動場	【1,280㎡】	改築後 屋内運動場	【約1,358㎡】	※うち開放用施設 約100㎡

■整備諸室

①校舎棟

- ・普通教室
普通教室+ワークスペース：21教室
特別支援学習室+ワークスペース：3教室、プレイルーム
- ・特別教室
9教室【理科室、家庭科室、図工室、第1音楽室、第2音楽室(左記各準備室)、特別活動室、生活科室、図書室+郷土資料コーナー、教育相談室】
- ・多目的室
3教室【視聴覚対応、少人数対応、一般多目的室】
- ・管理諸室
【校長室、職員室、印刷室、保健室、PTA室、用務員室、会議室、塵芥庫、リサイクル庫、教材室、物品庫、除雪機置場、職員更衣室(男女別)等】
- ・通級指導教室
【学習室6教室、プレイルーム、保護者控室、通級準備室(職員室)】
- ・その他
【ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ(男子用、女子用、多目的、職員用)、備蓄庫】

②屋内運動場棟

- ・アリーナ、器具室、更衣室(男女別)、体育準備室、開放用玄関、指導員控室、開放用トイレ

③児童会館

- ・玄関、事務室、遊戯室(プレイルーム)、集会室、クラブ室、トイレ(個室トイレ、多目的トイレ)、収納、多目的ホール(器具庫、収納庫含む)

④屋外環境施設

- ・グラウンド用屋外物置、教材園

■周辺道路

北側：西区役所前通線 幅員10.91m

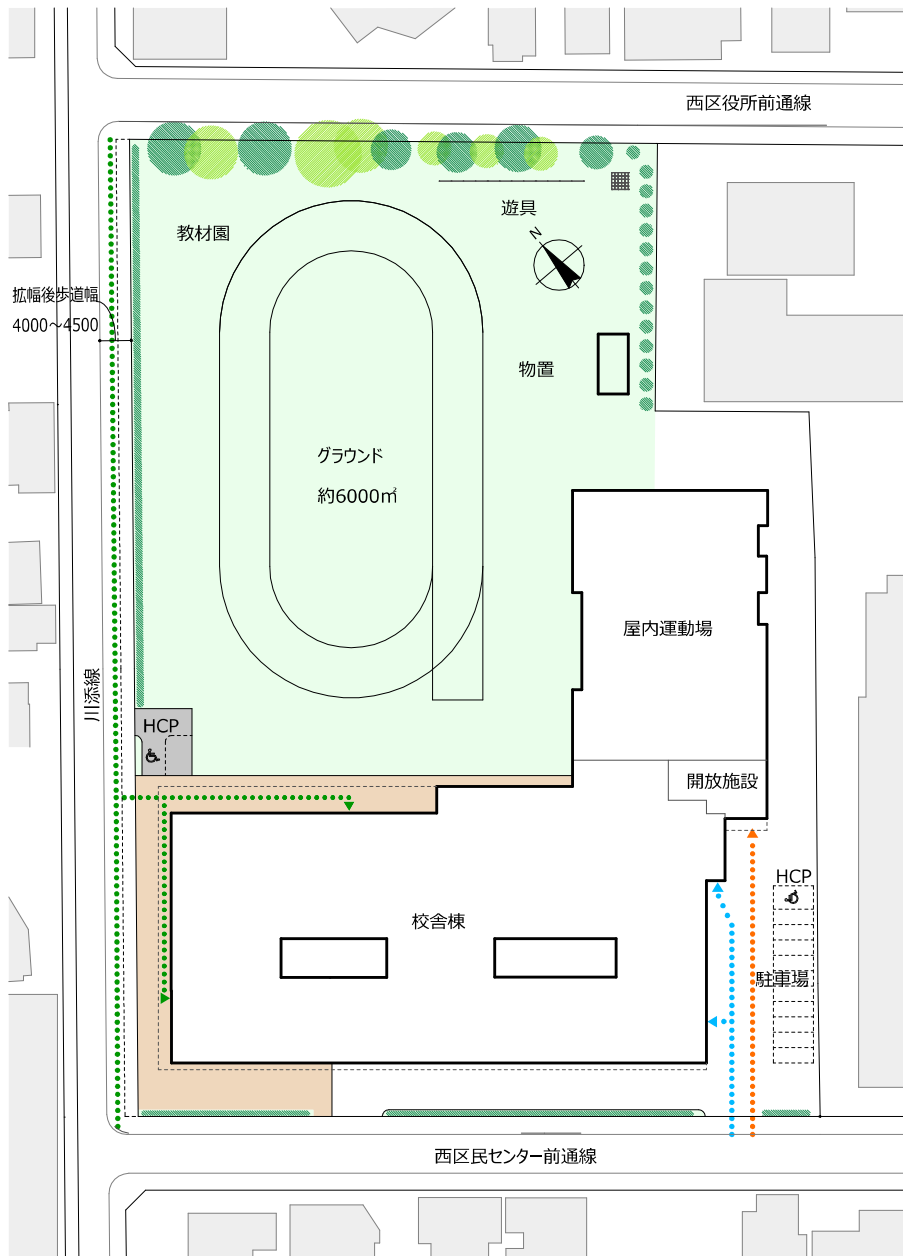
西側：川添線 幅員9.09m

南側：西区民センター前通線 幅員11.00m

■現況敷地及び建物

- ・既存校舎は敷地北西側に面しており、屋内運動場は北東側、グラウンドは南東側に位置し、南面には遊具が整備されています。南西側にはプールが配置されています。
- ・既存校舎は、昭和47年に鉄筋コンクリート造地上3階建てで建設し、平成25年に増築を行っています。
- ・屋内運動場棟は、校舎棟と同じく昭和47年に建設し、平成6年に改築を行っています。
- ・校舎出入口は北側、車両出入口は北側・西側となっています。

■改築計画案（部分仮設校舎 3階建）配置図、1階平面図



配置図 S=1/800

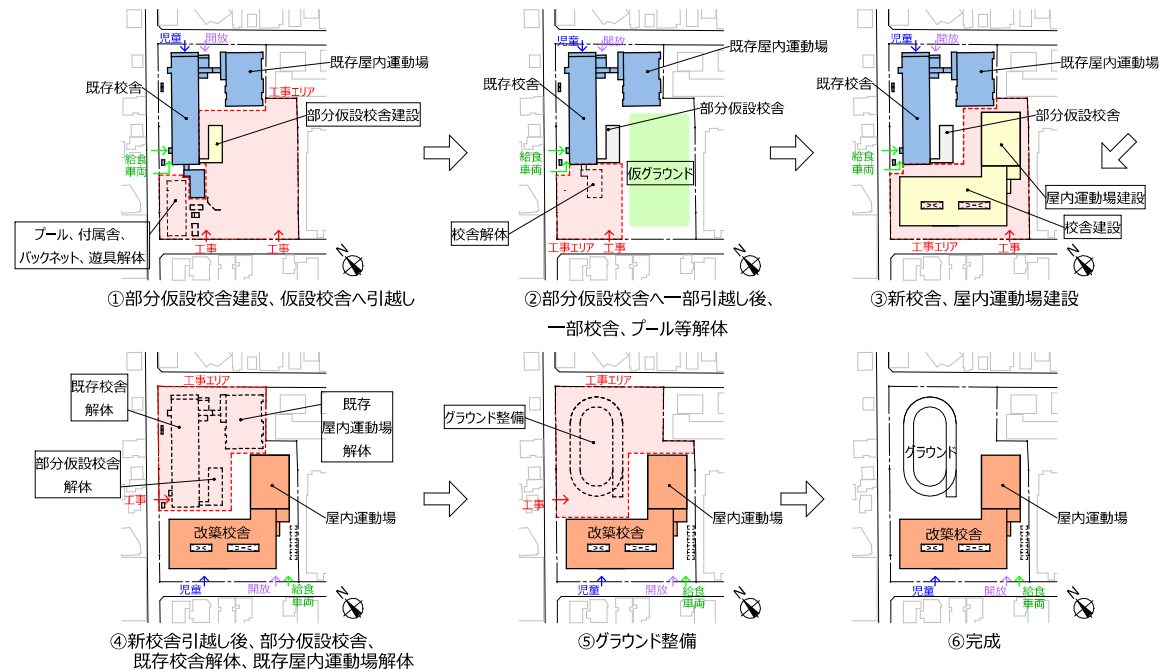
- ▼ 学校・児童会館出入口
- ▼ 地域開放出入口
- ▼ 搬出入出入口
- 児童動線
- 地域開放動線
- 車両動線

■配置計画案の前提条件

「札幌市小・中学校施設整備基本設計指針」「札幌市立琴似小学校改築等基本計画」及び敷地の周辺環境や現状建物の配置から、施設配置計画を進めるための前提条件を整理します。

- 1) 安心・安全で機能的な学校
 - ・給食運搬車、管理車両の動線と児童の動線は明快に分離します。
 - ・屋内運動場は緊急避難施設としての機能性に配慮します。
- 2) 周辺環境との調和
 - ・周辺環境への日影等の影響が最小限となるよう配慮した校舎とします。
 - ・普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、南面、東面から採光が可能な配置とします。
- 3) 屋外施設
 - ・グラウンドは現状程度の面積を確保します。(約6000㎡)
- 4) 経済性
 - ・工事規模、階数など、経済性に配慮した配置とします。
- 5) 工期・施工計画
 - ・児童の学習、活動への影響が最小限となるよう配慮した工期、施工計画とします。
 - ・工事中の児童への安全性を確保した工期、施工計画とします。

■工事手順図



■工事スケジュール

2024年度(令和6年度)	2025年度(令和7年度)	2026年度(令和8年度)	2027年度(令和9年度)	2028年度(令和10年度)
部分仮設校舎建設 ①	②-1 ②-2 プール・既存増築校舎解体	③ 新設校舎・屋内運動場建設	④ 部分仮設校舎解体	⑤ グラウンド整備
全体工程・グラウンド使用制限：4年5ヶ月（工事期間中一部仮グラウンドとして利用）			既存校舎・屋内運動場解体	
部分仮設校舎期間：2年3ヶ月				
新校舎・屋内運動場完成：2年10ヶ月				

・引越は1回（部分仮設で一部引越は2回） ・校舎棟建設まで仮グラウンド設置可能。 ・全体工期（4年5ヶ月）。新校舎使用開始2027年～

①ピロティ形式のアプローチ

雨・雪を凌ぎ、夏季はグラウンド活動の日陰スペースとなる。

②グラウンドに面した昇降口

授業間の移動負担軽減と災害時のグラウンドへの安全な避難に配慮。

③図書室

地域開放を考慮し、昇降口の横に配置。

④音楽室

1階に配置し、開放事業・屋内運動場への楽器搬出入に配慮。

⑤多目的ホール

施設活用増進のため、学校と児童会館が相互利用しやすい位置に配置。

⑥児童会館

周辺地域から認識しやすい配置。昇降口と庇を結び利便性に配慮。

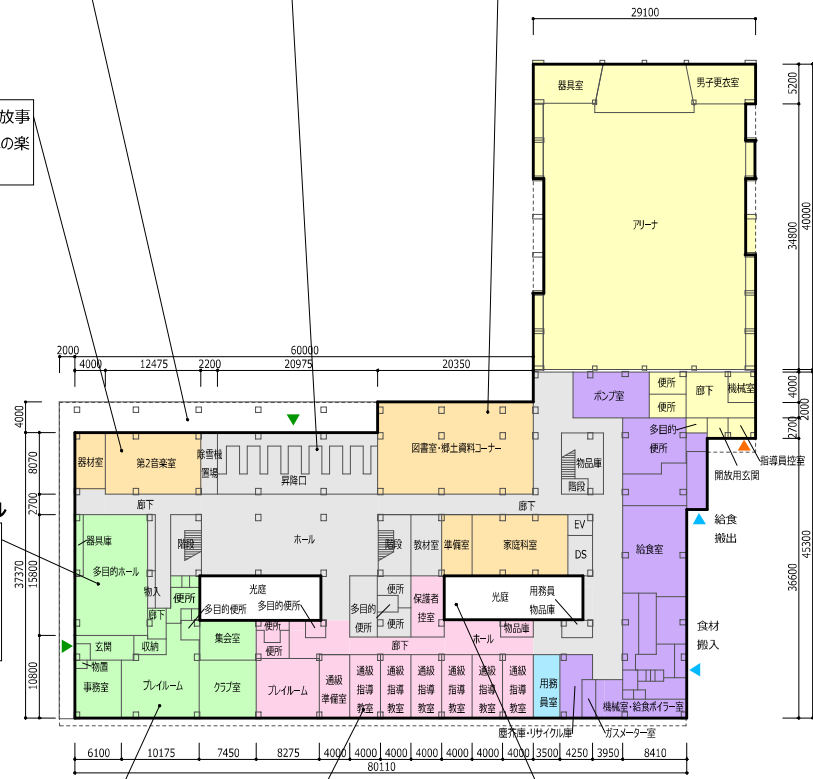
⑦通級教室

他校の児童が通学しやすい、静かで落ち着いた環境に配置。

⑧光庭

建物中央に配置し、有効な採光・通風を確保。家庭科室・通級児童や用務員の作業場としての利用も想定。

■ 1階平面図



- 普通教室ゾーン
- 通級指導教室ゾーン
- 屋内運動場ゾーン
- 管理ゾーン
- 特別教室ゾーン
- 児童会館ゾーン
- サービスゾーン
- 共用ゾーン

⑨職員室

グラウンド・通路が見渡せる位置に配置。管理諸室を集約し、職員間の連携と利便性に配慮。

⑩ワークスペース

教室と一体で多様な学習形態に対応。

⑪会議室

普通教室に転用可能な部屋を確保。

⑫多目的室の一体利用

2つの多目的室を可動壁でつなげた一体的な大空間を配置。複数クラスの合同授業、図工の大型作品の制作、学習発表会の合同練習に有効。

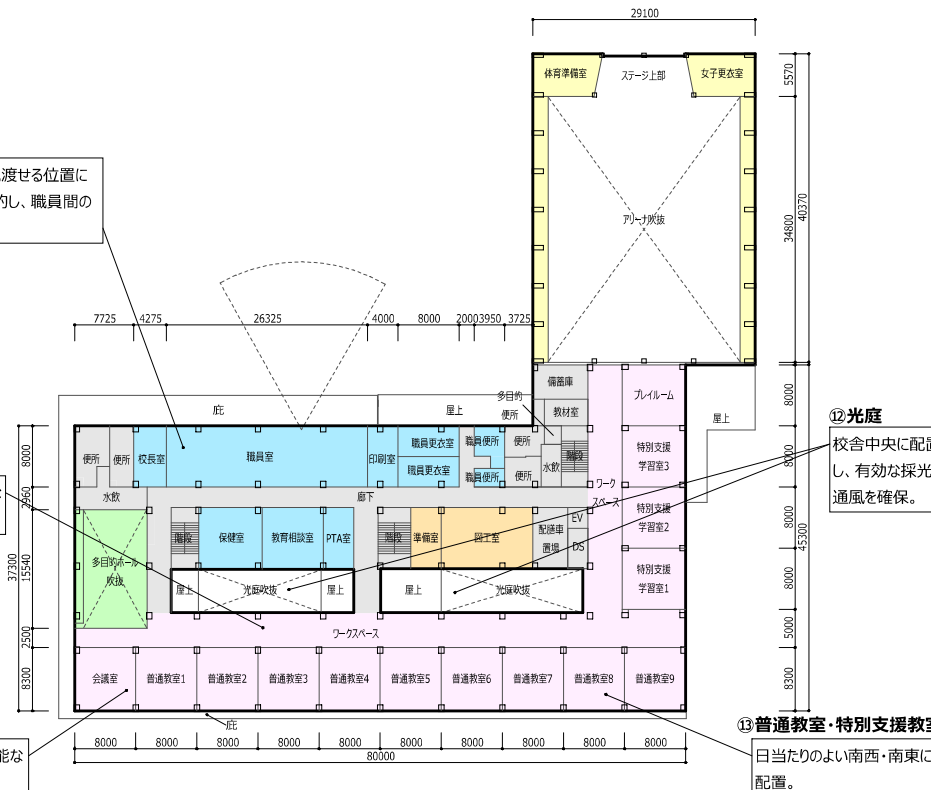
⑬生活科室

普通教室に転用可能な部屋を確保。

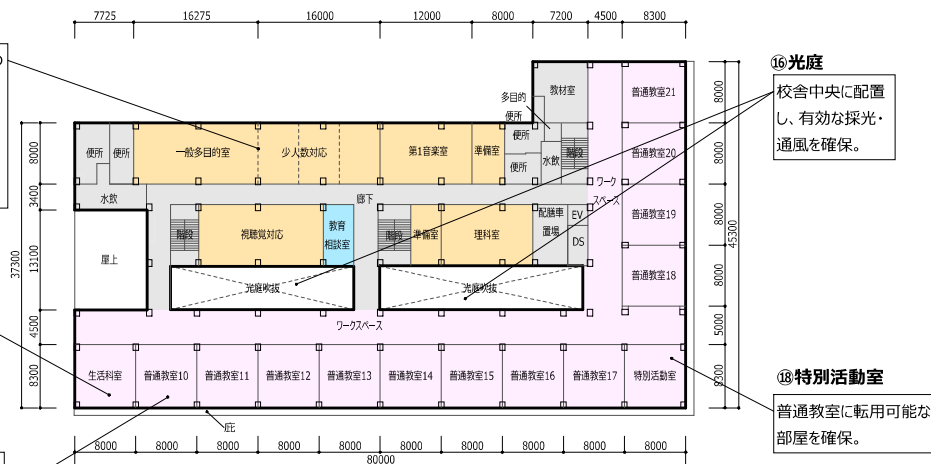
⑭普通教室

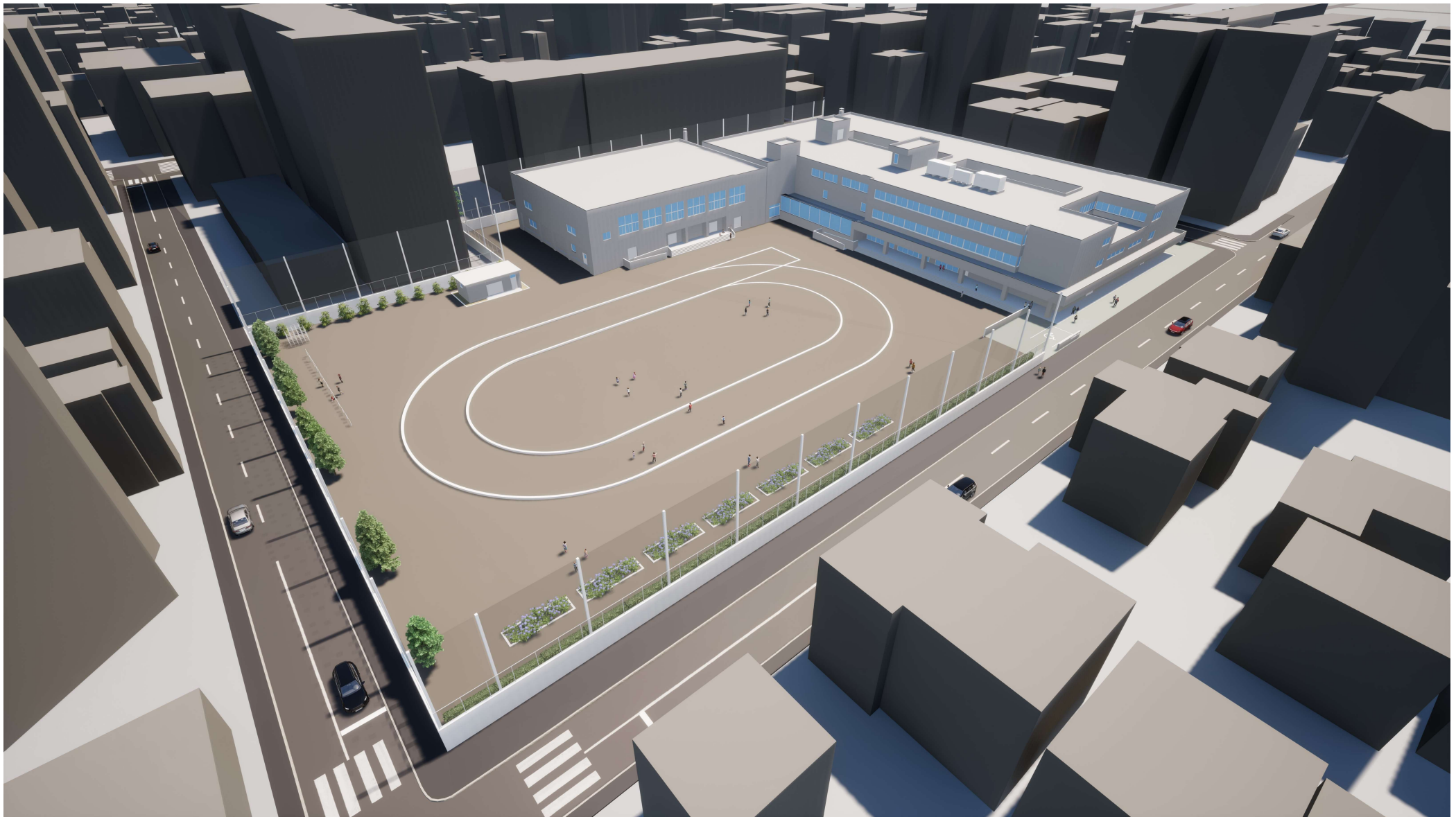
日当たりのよい南西・南東に配置。

■ 2階平面図

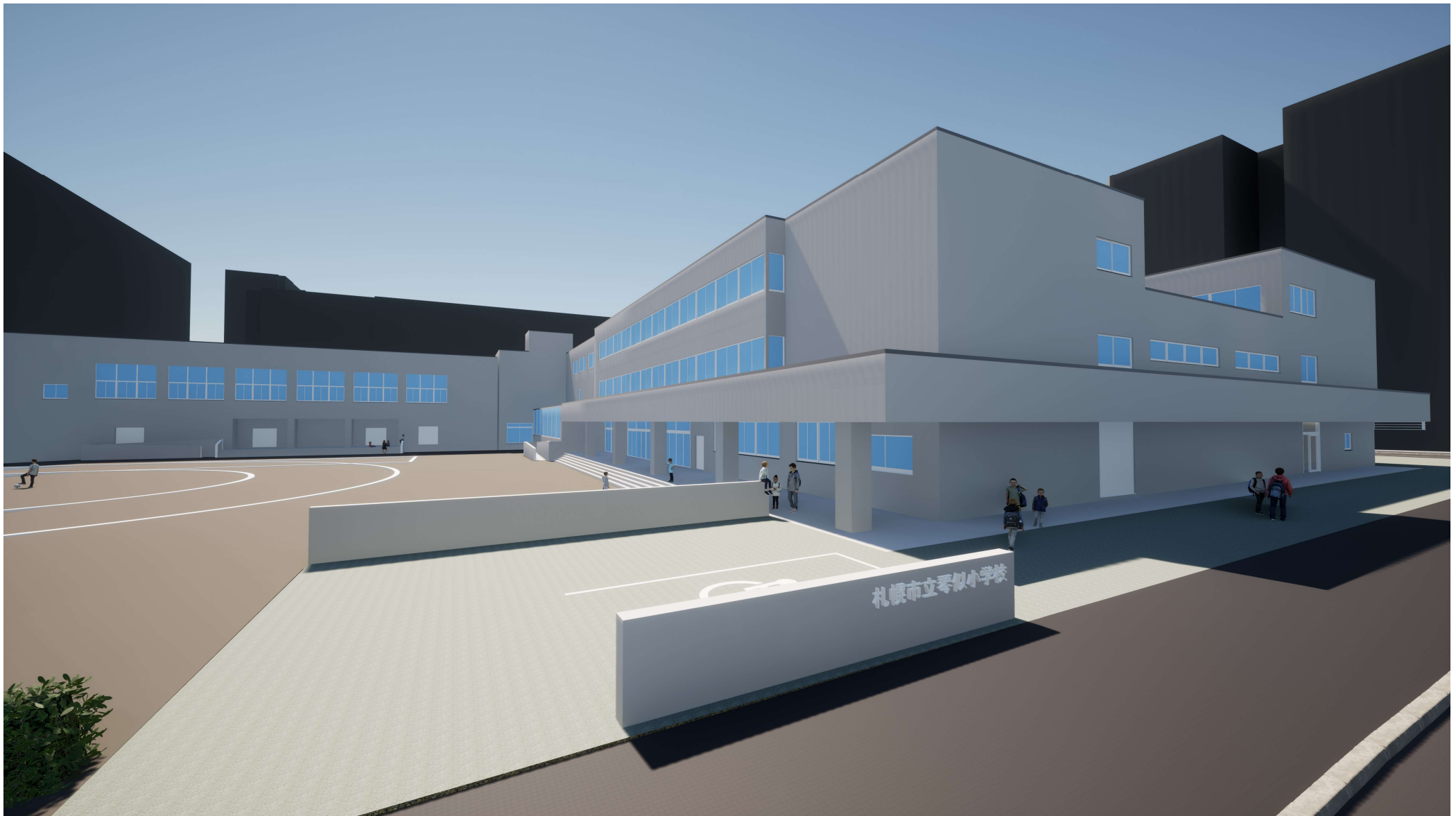


■ 3階平面図





※ 建物形状や配置、植樹は今後の諸条件により変更される可能性があります。



※ 建物形状や配置、植樹は今後の諸条件により変更される可能性があります。